

～協働による環境保全の推進～

市

(1) 環境教育・学習に取り組む

- 環境の現況や課題をとりまとめた環境白書(仮称)を作成し、公表します。
- 学校や地域(PTA、子供会、育成会等)と連携して、環境教育や環境学習の機会を増やしていきます。
- 地域における環境リーダーの発掘・育成に努めます。

(2) 環境保全・創造活動に取り組む

- 環境保全活動を支えるためのボランティアネットワーク(仮称)を構築します。
- 地域環境力を高めるために、環境保全活動をはじめ、様々な活動に参加しやすいようなしなやかづくりを検討します。
- 市内事業者に対してISO14001\*1やエコアクション21\*2などの環境マネジメントシステム認証取得に向けた啓発事業を推進します。

※1 ISO14001: ISO(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステム。環境に視点をおいた経営管理システムで、事業所ごとに環境保全に関する目標・方針・計画を定め、実施し、達成状況を点検しつつ、全体の見直しやさらなる環境配慮の実施に取り組んでいくというもの。

※2 エコアクション21: 広範な中小企業、学校、公共機関に対して、「環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果をとりまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度。

市民

- 家庭や地域で命の大切さや「もったいない」などへの理解を深めます。
- ボランティアネットワーク(仮称)への登録を行い、活動します。

事業者

- 環境情報の収集に努め、環境にやさしい事業活動や行動に活かします。
- ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメントシステム認証を取得します。



ウミガメ保護監視員の活動



吹上浜クリーン作戦の様相

主な環境指標と数値目標

環境指標	現況値(現況年度)	目標値(目標年度)
ポイ捨てなどの散乱ごみを不満に感じる市民の割合	43.6%(平成19年度)	27.0%(平成30年度)
ごみ排出量	14,171 t(平成17年度)	11,735 t(平成28年度)
リサイクル率	11.8%(平成17年度)	13.7%(平成28年度)
二酸化炭素排出量	294千t-CO <sub>2</sub> (平成17年度)	248千t-CO <sub>2</sub> (平成30年度)
公用車へのクリーンエネルギー自動車導入台数	19台(平成20年度)	100台(平成30年度)
市民の環境に関するモラル(道徳)に満足する市民の割合	30.9%(平成19年度)	47.0%(平成30年度)
環境保全活動団体の数	7団体(平成19年度)	20団体(平成30年度)

注: 満足する市民の割合(現況値)は「かなり満足」と「やや満足」と回答した人の割合で、目標値は「やや不満」と回答した市民の半数が満足すると仮定した場合の割合。不満に感じる市民の割合(現況値)は「かなり不満」と「やや不満」と回答した人の割合で、目標値は「やや不満」と回答した市民の半数が満足すると仮定した場合の割合(小数点以下四捨五入)。

: ごみ排出量、リサイクル率の現況値、目標値は一般廃棄物処理基本計画(H19.3)より。

: 二酸化炭素排出量は家庭部門で20%、業務部門で15%、自動車部門で20%削減という削減可能性を想定して設定した。



発行: 平成21年3月  
 発行元: 日置市 市民福祉部 市民生活課  
 〒899-2592  
 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
 TEL (099)273-2111 FAX (099)273-3063  
 e-mail: kankyou@city.hioki.lg.jp



日置市環境基本計画は、本市のまちづくりの基本となる第1次日置市総合計画の基本理念である「地理的特性と歴史や自然との調和を生かした ふれあいあふれる健やかな都市づくり」を環境面から実現するために、市民、事業者、市の協働により総合的に推進していくための指針となる計画で、計画期間は、平成21年度から30年度までの10年間とします。

水と緑と笑顔があふれる都市・ひおき

「水と緑」は、海や川、山、そこに棲む生き物などの豊かな自然を、  
 「笑顔」は、人とのふれあいや固有の歴史、文化を、  
 「あふれる」とは、交流によるつながりや活動のひろがりをめざす  
 という意味を込めています。



平成21年3月  
 鹿児島県 日置市

